

自費治療のご案内

治療が、少しずつ進んできて、お口の中の状態も良くなってきているでしょうか？
治療で、ご心配な事、ご不安な事はございませんか？
いつでも、なんでも、ご質問くださいね。

今日は**自費治療と保険治療の違い**についてお話させていただきます。
皆さんは、自費治療と聞いて、何をイメージされますか？
前歯、インプラント、高い・・・などありますよね。

確かに、自費治療は保険治療と比べて高価です。
それは何故なのか？どんな違いがあるのか？
そんな事を、出来るだけわかりやすくご説明できれば
と思います。



まず、とっても簡単に言いますと、自費治療と保険治療の違いはふたつです。
ひとつめは、**材料の違い** ふたつめは、**作業工程の違い**です。

I. 材料の違い

前歯の場合

保険ですと**レジン(プラスチック)** 自費ですと**ポーセレン**
という材料で作るのが一般的です。
昔は金歯もありましたが・・・

何が違うの？ わかりやすく言うと**プラスチックのお皿と陶器のお皿**と考えて頂ければいいと思います。
例えばプラスチックのお皿でカレーを食べると、
すぐ色がついて、取れないですよ。茶碗では汚れがついても
洗えばさっときれいになりますよね。
つまり**汚れがつきやすい**という事は、**バイ菌もつきやすい**
のです。



色がついて
しまった



自分の歯のような
奥行きのある色調

奥歯の場合

大きくわけて、**銀歯・金歯・白い歯**の三つになります。

銀歯は、いわゆる保険で治す時に使う材料です。
銀歯というのは銀で出来ているわけではなく、
12%金銀パラジウム合金というもので出来ています。



では**金歯**は？金合金で作ります。
患者さんのかみ合わせに合わせて18～21金を選択します。
金は金属アレルギー、審美性を除けばつめもの、かぶせものに最も適した材料なんです
何故なら、適度な硬さのため、適合が非常によいのです。
つまり「ぴったり」出来るんです。
特に歯ぎしりの強い方には、歯と一緒に減ってってくれるので
歯に優しく、虫歯になりにくい！
という素晴らしい利点があります。



白い歯。材料は前歯と同じ**ポーセレン**です。
(保険では奥歯は白い歯では出来ません。)
特に下の歯は口をあけたとき意外と目立つので
白くすると効果的です。ただかみ合わせによっては
かけてしまう事があります。

世界的には金属アレルギーなどの問題から、ポーセレンが主流です。

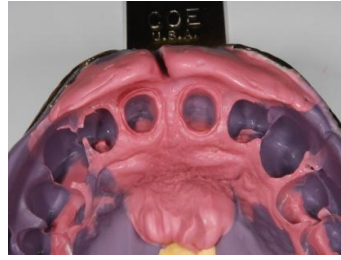


Ⅱ. 作業工程の違い

銀歯、かぶせモノは次のような工程で作成されます。
これも保険と自費ではやり方が変わってきます。

①削る かぶせものの形が違うので、削り方が違います。

②型どり 自費の場合はより精密に取れる材料を使います



③石膏でお口の中を再現する これも保険とは違う材料です。



④歯科技工士が作成する

保険の場合より時間をかけ高度な技術で作成します。



⑤お口の中で合わせる

つまり、自費治療では、**より良い材料を使い、よりぴったりなものが出来る！** という訳です。

いかがでしたか？

おわかり頂けましたでしょうか？

保険は、自己負担が少ないというメリットはあります。
が、自費治療はこのように、最良な材料を使用し
特別な作業工程を行う事で、より優れたものを

皆さんのお口の中にお入れする事が出来ます。

これは長い目で見たとき、
また虫歯になる、歯周病が進む **危険度**
を減らすこととなります。
歯にとっても優しい治療
なのです。

ご自身の大切な歯のために是非ご検討ください。



この他にも比較的安価で審美性の良いセレック等も
お選びいただけます。
もちろん保険治療も行っておりますので
お気軽にご相談ください。